

令和7年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 市民自治部 まちづくり室 まちづくり推進課

1. 基本情報 020107

施設名	伊丹市立市民まちづくりプラザ				
施設の設置目的	市民の参画と協働によるまちづくり活動の推進を図る。				
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施 策：市民力・地域力 実施施策：市民活動団体等の活性化				
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 宝塚NP0センター (団体の住所又は所在地) 宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F				
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	令和7年4月1日～令和12年3月31日			
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	講座参加者数 (単位： 人)			
	指標の意味	講座に参加した市民の人数			
	今年度の目標値	450	今年度の実績値	724	

2. 利用状況

利用状況等の推移		R2	R3	R4	R5	R6	R7 (通期)
	利用者数(人) ※非対面・館外含む	816	1036	1138	1127	1620	1918
	講座開催回数(回)	64	60	68	63	67	69
	講座参加者数(人)	585	594	697	785	870	724

3. 経費情報

	区分	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	3ヵ年 平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	4	21	0	8
	その他	0	0	0	0
	指定管理委託料	7,490	7,490	10,984	8,655
	①合計	7,494	7,511	10,984	8,663
支出	維持管理				
	光熱水費	0	0	0	0
	清掃等委託料	0	0	0	0
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	55	67	0	41
	運営				
	人件費	6,137	5,052	8,886	6,692
	事業等経費	877	840	2,515	1,411
	その他	0	0	0	0
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	7,069	5,959	11,401	8,143
純収支(①-②)		425	1,552	△ 417	520

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ 〈単位:千円〉		R2	R3	R4	R5	R6	R7
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	7,490	7,490	7,453	7,490	7,490	10,984
	(内、指定管理委託料)	7,490	7,490	7,453	7,490	7,490	10,984
実質経費(歳出-歳入)		7,490	7,490	7,453	7,490	7,490	10,984

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	A	業務スペース及びカウンターは定期的に清掃を行い、快適に利用できる環境を整えている	B	施設は清潔に保たれており、事務作業や来客対応に適した配置となっている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	さらに適切な人員配置をするため、増員をした。より業務を充実させるための職員研修も行った。	A	仕様に定める業務内容を遂行するのに必要な能力を備えた人員を配置している。また、職員の出勤状況を本部で確認する仕組みを構築している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	—		—	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	スワンホールが開催した避難訓練に参加し、緊急時の連絡体制など、スタッフへの周知も徹底した。	B	緊急時に必要とされる連絡体制を整備している。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	講座後のアンケートなどにより、利用者の意見を反映できるように、適正な対応を心がけ、苦情トラブルなどはなかった。	A	講座受講者に対するアンケート等により利用者の意見を聴取・反映しながら、随時新規の事業や取組について検討・実施している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	指定管理者として実施すべき事業や、計画にない事業も実施し、利用者を増加させることができた。	A	講座参加者数は通年の計画値を達成し、設置目的に沿った事業を実施している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	各種書類等の保管など適切に取り扱い、HPやSNSなどを積極的に利用し、情報提供をした。	B	ホームページや各種SNSをはじめ、多様な媒体で積極的に情報発信を実施している。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	A		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	安定的に運営をし、経理処理など適切におこなった。	B	予算執行及び帳簿管理を適正に行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		A	A			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「—」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	講座参加者数は令和7年度の目標を達成。相談対応においては、利用者の日々の活動におけるアドバイスや、広報や助成金獲得、法人化の登記など、利用者の目標達成に結びつく適切な支援を実施することができている。情報発信についても、本施設や登録団体の情報、講座・イベントの情報を積極的に発信している。
総合評価	
A	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】 令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有	■講座参加への満足度 大変満足 42% 満足 52% 普通 5% やや不満 1% ■講座参加のきっかけ ①伊丹市 広報紙・HP 25% ②友人知人からの紹介 15% ③まちプラからのお知らせ・SNS 27% ④チラシ 13% ■今後参加したい講座・イベント (広報・SNS・HP)(デジタル化 AI)(地域交流)(コミュニティビジネス)(事例紹介)(団体運営)(資金調達)	講座参加者からの満足度では、1%の「やや不満」があり、改善に努めた。 講座参加のきっかけでは、「市の広報」や「友人知人からの紹介」が半数以上を占め、40%近くがまちプラからの広報(チラシ含む)だった。さらに新規の講座参加者につながるように努めることとした。 今後参加したい講座・イベントでは、広報やデジタル化が半数以上を占めていたため、次年度の講座の参考にした。
回答者数		
188		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
—	—